

1 歴史資料から読み解く近代移行期の堺・泉州



講師・コーディネーター 桃山学院大学提供講座

しま かつひこ
島田 克彦

桃山学院大学 経済学部教授

大阪市立大学文学研究科日本史学専攻修了、大阪公立大学にて博士(文学)を取得。現在桃山学院大学経済学部経済学科教授。専門分野は日本近現代史。近世・近代の日本における地域社会構造の歴史的展開に関する研究などに取り組む。主な著書として『和泉市の歴史8 和泉市の近現代』などを分担執筆。

この講座では、堺・泉州の地域史を学びます。古代・中世の歴史を経て形成された近世(江戸時代)の身分制社会は、「御一新」と呼ばれた政治変革を経て、どのように変容していったのでしょうか。講座では、伝統的な地域と人びとのありようが近代(明治時代)に変容してゆく過程を、歴史資料から読み解きます。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	火曜日	10:30～12:00	地下1階多目的室

	日程	講義テーマ
1	11月11日(火)	戊辰戦争と堺・泉州
2	11月25日(火)	領主制の解体・統治機構の再編と堺県
3	12月9日(火)	村々から見た寺社の再編
4	12月23日(火)	村の土地と人びと①
5	1月13日(火)	村の土地と人びと②
6	1月27日(火)	近代社会への移り変わりと村①
7	2月10日(火)	近代社会への移り変わりと村②
8	2月24日(火)	信太山演習場の成立と信太地域
9	3月10日(火)	堺・泉州と明治地方制度
10	3月24日(火)	全体のまとめ

2 英米とドイツにおける優生政策の歴史



講師・コーディネーター 桃山学院大学提供講座

ながみし ゆうこ
永水 裕子

桃山学院大学 法学部教授

上智大学法学研究科博士後期課程単位取得満期退学。専門は民法および医事法で、『はじめての医事法(第2版)』(共著)、『インフォームド・コンセントと医事法』(共著)、『生殖医療と医事法』(共著)、『小児医療と医事法』(共著)、『いのち、裁判と法』(共著)などがある。

ゴルトン(英国)やブレッツ(ドイツ)が19世紀後半から20世紀初頭に構想した「優生学(人種衛生学)」は、社会運動とともに世界に広がっていったとされる。この講義では、ドイツ、英国、そしてナチスドイツの優生政策に多大な影響を与えたとされる米国という三つの国における優生政策や優生運動について取り上げ、どのように優生思想が社会に浸透していったかについて考察したい。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全9回	4,950円 (9回分一括)	50名	水曜日	13:00～14:30	地下1階多目的室

	日程	講義テーマ	講師
1	12月3日(水)	イントロダクションー優生学・優生運動の歴史	永水 裕子
2	12月10日(水)	イギリスにおける優生政策	
3	12月17日(水)	アメリカの優生政策(全体像)	
4	12月24日(水)	アメリカの優生政策(法制度や最高裁判決を中心に)	
5	1月7日(水)	カリフォルニア州の優生政策(断種法制定から廃止、謝罪・補償まで)	桃山学院大学法学部 西洋法制史講師 鈴木 康文
6	1月14日(水)	ドイツにおける社会ダーウィニズム(ヘッケルとブレッツを中心に)	
7	1月21日(水)	ドイツにおける優生学と社会ダーウィニズム批判	
8	1月28日(水)	ナチス政権前の優生政策	
9	2月4日(水)	ナチス政権の優生政策と戦後の状況	

3 『源氏物語』五十四帖を読む13



講師・コーディネーター 桃山学院大学提供講座

うめやま ひでゆき
梅山 秀幸

桃山学院大学 名誉教授

京都大学大学院博士課程修了。現在は桃山学院大学名誉教授。著書に『かぐや姫の光と影ー物語のはじめに隠されたことー』、『後宮の物語』。訳書に『於于野譚』、『太平閑話滑稽伝』、『慵斎叢話』、『溪西野譚』、『朝鮮宮廷女流小説集 恨(ハン)のものごとたり』など。

この講座は2019年度より始め、「桐壺」から「夕霧」まで読みすすめた。2025年度の後期は「御法」から「紅梅」までを読む。

※進み具合により内容は変更する場合がございます。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	月曜日	10:30～12:00	3階学習室4

	日程	講義テーマ
1	11月10日(月)	「御法」を読む(1)
2	11月17日(月)	「御法」を読む(2)
3	12月1日(月)	「幻」を読む(1)
4	12月15日(月)	「幻」を読む(2)
5	1月19日(月)	「幻」を読む(3)(題名のみ伝わる「雲隠」についても少し触れます)
6	2月2日(月)	「匂宮」を読む(1)
7	2月16日(月)	「匂宮」を読む(2)
8	3月2日(月)	「匂宮」を読む(3)
9	3月9日(月)	「紅梅」を読む(1)
10	3月23日(月)	「紅梅」を読む(2)

※講座開講中の室内の温度管理には十分注意いたしますが、念のため衣服などで調整できるよう各自でご準備をお願いいたします。

4 日本近代文学概論



講師・コーディネーター

たきもと かすなり
瀧本 和成

立命館大学
名誉教授・特別任用教授

〔専門〕日本近代文学、とくに20世紀初頭の文学〔編著書〕『明治文学史/大正文学史』(晃洋書房)、『韓流百年の日本語文学』(人文書院)、『鷗外 近代小説集第2巻』(岩波書店)、『京都歴史・物語のある風景』(嵯峨野書院)、『自由に生きるための知性とはなにか』(晶文社)など

日本近代文学の成立と確立、そして、発展して行く様相を時代の流れに沿いながら、かつ文学(芸術)観の違いにも着目し、代表作家及び作品を解説して行きたい。作者と作品、読者の三者の有機的な関係性をも包含した視点も併せて導入できればと考えている。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全12回	6,600円 (12回分一括)	50名	月曜日	14:00～15:30	地下1階多目的室

	日程	講義テーマ
1	11月10日(月)	日本近代文学の成立-坪内逍遙と森鷗外-
2	11月17日(月)	日本近代文学の確立-二葉亭四迷と森鷗外-
3	12月1日(月)	浪漫派-北村透谷と与謝野鉄幹-
4	12月8日(月)	自然派-田山花袋と島崎藤村-
5	12月15日(月)	余裕派(高踏派)-森鷗外-
6	12月22日(月)	余裕派(高踏派)-夏目漱石-
7	1月5日(月)	「新思潮」派-芥川龍之介-
8	1月19日(月)	「白樺」派-武者小路実篤と志賀直哉-
9	1月26日(月)	「三田文学」派-永井荷風と谷崎潤一郎-
10	2月16日(月)	1910～20年代(大正期)の文学 -横光利一、川端康成、葉山嘉樹、小林多喜二-
11	3月2日(月)	1930～40年代の文学(戦前・戦中) -坂口安吾、太宰治、中島敦-
12	3月9日(月)	1945年以後の文学(第1・2次戦後派、第3の新人、学生運動下) -三島由紀夫、安部公房、遠藤周作、大江健三郎、村上春樹-

5 身近な名城を探訪する



講師・コーディネーター

しんや かすゆき
新谷 和之

近畿大学
文芸学部文化・芸術学系准教授

大阪市立大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。「近畿の歴史」は日本中世史・城郭史。著書に『近畿の歴史』(思文閣出版)、『図説 近畿の歴史』(成光祥出版)など。

和泉市の周辺には、日本を代表する名城が数多く存在します。この講座では、そんな近場の名城を取り上げ、それぞれの歴史を解説します。あわせて、建物のつくりや防御の工夫などに触れ、見学時のポイントを紹介します。知識が増えれば、お城歩きがもっと楽しくなりますよ。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全10回	5,500円 (10回分一括)	50名	木曜日	13:30～15:00	地下1階多目的室

	日程	講義テーマ
1	11月6日(木)	日本の城の歴史
2	11月27日(木)	彦根城の歴史と見所
3	12月4日(木)	二条城の歴史と見所
4	12月25日(木)	篠山城の歴史と見所
5	1月15日(木)	姫路城の歴史と見所
6	1月29日(木)	郡山城の歴史と見所
7	2月5日(木)	伊賀上野城の歴史と見所
8	2月26日(木)	大坂城の歴史と見所
9	3月5日(木)	岸和田城の歴史と見所
10	3月26日(木)	和歌山城の歴史と見所

6 【内容刷新】幕末を英傑たちの生涯から再検証する



講師・コーディネーター

きむら たけひと
木村 武仁

幕末維新ミュージアム・
霊山歴史館 学芸課長

1973年、京都市生まれ、國學院大学文学部卒業。幕末史の研究者。著書は「幕末のその日」など。テレビ出演は「歴史の教科書」など。『ようわかるぜよ!幕末』など。テレビ出演は「歴史の教科書」など。『ようわかるぜよ!幕末』など。

近年、幕末史や明治維新史を再検証する動きが高まっています。新選組の副長として人気の高い土方歳三や将軍の御台所になった篤姫や和宮、ペリー来航時に老中首座を務めていた阿部正弘、いまだに謎の多い龍馬殺害事件など、幕末・明治維新时期に活躍した英傑や組織、事件、戦争などにスポットを当て、様々なエピソードを紹介し、その知られざる実像、真相に迫ります。

講座回数	受講料	定員	曜日	時間	場所
全12回	6,600円 (12回分一括)	50名	金曜日	14:00～15:30	地下1階多目的室

	日程	講義テーマ	講師
1	11月21日(金)	大器晩成 坂本龍馬とお勉強	幕末維新ミュージアム・霊山歴史館 学芸員 米澤 亮介
2	12月12日(金)	ペリー来航と老中首座・阿部正弘	木村 武仁
3	12月19日(金)	吉田松陰と松下村塾を再考する	
4	12月26日(金)	逃げの小五郎? 桂小五郎(木戸孝允)の本質	米澤 亮介
5	1月16日(金)	大奥 篤姫と和宮	木村 武仁
6	1月23日(金)	龍馬の師匠・勝海舟の前半生	
7	1月30日(金)	坂本龍馬の活躍と殉難	米澤 亮介
8	2月6日(金)	中岡慎太郎の生涯	
9	2月13日(金)	新選組副長・土方歳三の実像 誕生から鳥羽伏見の戦い	木村 武仁
10	2月27日(金)	土佐の最高権力者 山内内容堂について	米澤 亮介
11	3月6日(金)	徳川慶喜の生涯と大政奉還の攻防	木村 武仁
12	3月13日(金)	戊辰戦争の緒戦・鳥羽伏見の戦い	

往復はがきでお申し込みください。

【締切】
9/30(火)
必着

対象 和泉市在住・在勤を問わず、どなたでもお申し込みいただけます。

申込方法 往復はがきに必要事項を記入の上、郵送にてお申し込みください。
窓口や電話でのお申し込みはできません。

- ※ 往復はがき1通につき、1講座の申し込みとなります。
- ※ 複数講座を申し込みの場合は、講座数分の往復はがきが必要です。
- ※ 1通での複数講座や複数人数分の申し込みは無効となります。
- ※ 同一講座への重複申し込みはできません。
- ※ 往復はがき以外での申し込みは無効となります。
- ※ 生涯学習センター窓口にはがきをお持ちいただいても受付できません。
- ※ 定員に達していない講座は10月4日(土)以降、窓口で受付いたします。

定員 各講座 50名【定員を超えた場合は抽選】

- ※ 定員を超えた場合は、抽選を行い、補欠順位も抽選にて決定いたします。
- ※ 10月3日(金)14時より和泉シティプラザ地下1階多目的室にて公開抽選会を行います。
- ※ 申込者が10名に満たない講座は不開講となります。
- ※ 申込多数の場合は講師と協議の上、可能な限り受講者を受け入れます。

申込手順

往復はがきで
申し込み(郵送)
締切9/30(火)

定員超の場合
抽選を行います。
10/3(金)

返信用はがきを
10/4(土)から
順次発送

返信用はがきが届きましたら、
ご持参の上、受講料を入金。
入金期限10/20(月)

- ※ 一旦納入された受講料は原則として講座中止の場合のほかは返金できませんのでご了承ください。
- ※ 10月20日(月)までにご入金いただけない場合はキャンセルとさせていただきます。

往復はがきの
書き方(見本)

往信(おもて)	返信用(うら)	返信用(おもて)	往信(うら)
往復はがき 5940041 和泉市いぶき野 五丁目4番7号 生涯学習センター 宛	※何も記入しないで ください	返信 5940041 氏名 住所 申し込み される 方 の	1.希望講座名 ※はがき1通につき 1講座 2.住所 3.氏名(ふりがな) 4.生年月日 5.電話番号

※消せるボールペンは使用しないでください。
※手作りのはがきではお申し込みできません。

講座に関する最新情報は、和泉シティプラザホームページをご確認ください。

<https://www.izumicityplaza.or.jp>

**受講カード
について**

『いずみ市民大学』の受講生の方には
【ココロトリコイズミ生涯学習カード】を発行しております。

特典

- ☆生涯学習センター主催の催物チケット優先販売(おひとり様2枚まで)
一般発売日の3日前より販売(但し、催物によっては適用のない場合もあります)
- ☆和泉シティプラザ1階カフェとエコールいずみ協賛店舗での割引

ポイント加算

講義1回につき1ポイント(出席回数にかかわらず講義回数分を加算)

有効期限

1年間(受講更新により、随時有効期限は延長されます)

※カードを紛失された場合は、再発行手数料100円が必要となります。



和泉シティプラザ
生涯学習センター

(受付時間 9:00~22:00)

0725-57-6661

〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目4番7号
南海電鉄東北線「和泉中央駅」より徒歩3分
駐車場230台 ※2時間まで無料。以降30分までごとに100円。
ご来場の際には、なるべく電車・バスなどをご利用ください。



この冊子は、3,000部印刷し、印刷単価は1部約15円です。

令和7年度

いずみ市民大学

教養学部〔後期〕

各講座 50名
受講生
募集!

- 歴史資料から読み解く近代移行期の堺・泉州
- 英米とドイツにおける優生政策の歴史
- 『源氏物語』五十四帖を読む 13
- 日本近代文学概論
- 身近な名城を探访する
- 幕末を英傑たちの生涯から再検証する

締切

往復はがき 9/30 (火) 必着

市民の学習意欲の醸成、活力ある地域社会の実現とまちづくり活動を担う人材の育成を目的として『いずみ市民大学』を設置。
学んだことを地域で生かす「まちづくり学部」と、自らの知識を広げる「教養学部」を併設しています。



※いずみ市民大学は学校教育法上の大学ではありません。市が行う生涯学習推進事業の名称です。